



## 沖縄市銀天街の バー「アイラ」

# “れんが風”が魅力

### ベニヤ板に 壁紙貼り付け 雰囲気求め店主自作

【沖縄】「壁もドアもなかったもので、DIY（ドゥ・イット・ユアセルフ＝自作）しました」。沖縄市昭屋の銀天街にあるバー「ISLAY（アイラ）」の入り口は一見、入り口にれんが造りの壁やドアがあるように見えるが、実はこの壁は、店主の森寛和さん（45）がれんが模様の壁紙を貼り付けて自作したベニヤ板できている。

アイラは6月にオープンした。店舗は以前は居酒屋だったが、シャッターの内側に壁もドアもなかった。「これではクーラーも効かない。虫も入ってくる。バーの雰囲気も出したい。でも雰囲気のある通りから隔たった空間にはしたくない」など、要望の多い森さんが知恵をめぐらせた結果、この「ベニヤ壁」の自作を思い付いた。壁の「総工費」は5千円と低予算。

ベニヤ板で作った壁とドアを披露するバーアイラの森寛和さん（12日）夜、沖縄市昭屋の銀天街

窓は厚手のビニールと網戸の網でできている。壁は毎晩、開店時にシャッターを開けた後に「設置」する。斜め前の居酒屋で飲んでいた際に、偶然その様子を目撃した沖縄市観光協会コサ

・インフォメーションセンターの新里雅子さんは「目が点になった」と面白かった。店にはジャズが流れており、森さんが必要に応じて得意分野のウイスキーなどに関するうんちくも披露している。高級店では1杯千円以上はするよいうなウイスキーも、500〜600円で売っている。森さんは壁に視線を送りながら「すみませんチップで。だから安く出せるんです」と照れ笑った。

動画

（2012年10月21日 26面）

☆写真のれんがを見てどう思いましたか？ 感想を出し合ってみよう。

☆店主の森さんはどんな人でしょう？ 行動やセリフから想像してみよう。